

野生動物や衛生害虫(クロバエ)による ウイルス侵入防止対策を徹底しましょう

ハシブトガラスやクロバエは、腐肉食性で、動物の死体を食べる習性があり、農場、鶏舎内へウイルスを運ぶ重要な感染経路の一つと考えられます。

オオクロバエ

- 暗青藍色の大型のクロバエ(体長10～15mm)
 - 嗅覚に優れ飛翔力が高い(1.8km/日)
 - 成虫は、晩秋と初春(比較的寒い時期)に活発で、夏季には見られなくなる。
- ※鹿児島県出水市R5.12.14採取の環境試料(オオクロバエ)からウイルス分離事例あり

○死亡鶏を家きん舎内等に放置しない！

死亡鶏は速やかに畜舎内から出し、密閉容器で保管しましょう！

○家きん舎の金網や防鳥ネット(吸気口)を殺虫剤処理する

10月～4月は、最低月に1回殺虫剤で処理しましょう！

※集糞ベルトの出口等の対策も忘れずに！

集糞ベルト出口ではクロバエ類をよく見かけます。

日頃から殺虫、消毒を実施しましょう。

群馬県の家きん飼養農場で

高病原性鳥インフルエンザ発生(今シーズン5例目)

【農場概要】

所在地 群馬県高山村

飼養状況 約36万羽(採卵鶏)

【経緯】

12月31日 死亡羽数増加の通報を受け、立入検査、簡易検査陽性

1月1日 遺伝子検査でHPAIの疑似患畜を確認

早期発見・早期通報の徹底をお願いします

通報先は、**岐阜県中央家畜保健衛生所**

電話:058-201-0530

時間外・夜間・休日:090-7024-5269